

Ai愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F

TEL 052-871-5433

FAX 052-871-5618

URL http://www.aioren.gr.jp

343

2022年2月号

発行人 竹内 創

第43回トヨタ総行動

日時 2月11日(金休)

① 早朝宣伝行動
7:30~ トヨタ本社前、三河豊田駅
7:45~ 刈谷駅

② 10:30~ 名古屋駅前大宣伝行動

③ 東三河地域行動

※2月上旬にトヨタ本社ほかグループ企業要請

2022国民春闘 大幅賃上げ実現へ

大幅賃上げの実現を目指す2022国民春闘が幕を上げました。全ての労働者の賃金大幅引き上げ・底上げをめざし、愛労連・愛知春闘共闘は、1月6日に刈谷駅、7日に名古屋駅で早朝宣伝行動をおこない、2022国民春闘を元気にスタートしました。

今春闘の最大のテーマは「賃上げ」。世界の賃上げの流れから取り残され、実質賃金がマイナスとなっている日本。コロナ禍の不況から立ち直るためにも全労働者の大幅賃上げ・底上げが不可欠です。



抜本的な賃金・労働条件の改善を

ケア労働者の大幅賃上げ増員アクション始動

愛労連は2022国民春闘で「ケア労働者の大幅賃上げ増員愛知アクション」とりくみます。

コロナ禍で国民生活を支え、その存在がクローズアップされた「エッセンシャルワーカー」。しかし、社会に「不可欠」な労働者にもかかわらず、その多くが十分な賃金を得られていません。

特に、ケア労働者と呼ばれる医療、介護、保育、福祉、学童保育などの労働者は他産業に比べ低賃金・不安定雇用があり、慢性的な人手不足になっています。

政府が「コロナ克服・新時代のための経済対策」において実施する看護師4000円、保育士・介護士9000円等の賃上げは金額的にも、賃上げの及ぶ範囲についても不十分なものとなっています。金額については「一桁たりない」と現場やSNSから多くの声が上がっています。

同じような仕事内容でも賃上げ対象外

介護職の賃上げ対象は介護事業所で働く人で、介護福祉士の資格の有無は関係ありません。しかし、医療機関で看護師などの指示を受けて高齢者などの入浴や

食事や掃除などの看護補助者は、ほぼ同じ仕事内容にもかかわらず対象外となっています。看護師については、「救急搬送年間200件以上の医療機関」の看護師などと限定されています。

プロジェクトチームで抜本的な改善をめざす

更なる賃上げや賃上げ適用範囲の拡大、そして職員配置基準の改善・大幅増員を求め、愛労連は医療労連・福保労・自治労連・生協労連・建交労の現場の役員などプロジェクトチームを結成し、とりくみを進めます。

大幅賃上げでよりよい介護の実現を



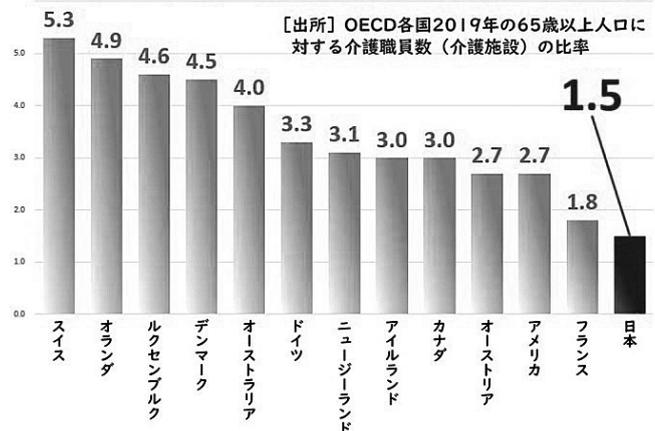
杉江 佐織さん(介護士)

医労連・名南会労組

介護士の人手不足の一つとして賃金の低さが一番の要因だと思います。今回、国の発表で介護士の賃金9000円を上げるのは、今まで国に訴えてきた成果が少し実ったのかなと思う反面、それでも他の産業に比べて月収で7〜8万円安いのが現実です。

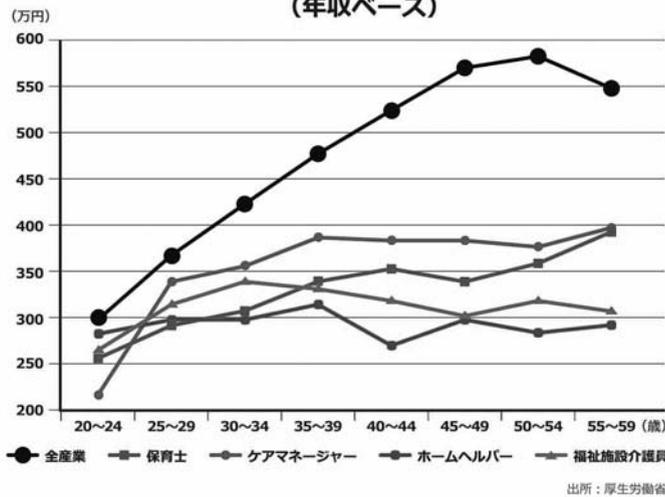
足が問題になっていて介護が好きで働いていても、ライフスタイルが変わった際に、その給料だけでは生活出来ないかと辞めていく人もいました。団塊の世代が介護が必要になる「高齢者」になるとされる2025年問題がすぐ近くまで来ています。介護のイメージが良くなって人が集まり、質のいい介護を提供していくには、仕事量に見合う賃金の確保、賃金を上げることが不可欠だと思います。

日本の介護職員数はデンマークの3分の1 ドイツの半分—介護体制の拡充こそ必要



2022国民春闘では①ケア労働者の賃金4万円以上の大幅引き上げ・底上げ、②要求実現の過程での組織拡大、③ケア労働現場

介護・保育分野における賃金カーブ (年収ベース)



昨年(19)は衆議院選挙、今年は参議院選挙と大きな選挙が続き、政治と労働組合の関係がどう考えたいのかという組合員が増えています。賃金や労働時間などの直接的な要求は雇用主によることになり、労働基準法などの法律の改正や税や社会保障などの政策的要求は、政治を通じて国会や地方議会を動かすことでしか実現しませんが、だからこそ、署名活動やデモ、集会といった活動を労働組合は必要なのだと思います。組合員の中には「集会やデモへの動員が難しくなるなら組合を脱退する」という人もいます。さらには、職場の多忙化や長時間労働のもとで、諸行動への参加が困難な実態もあります。なぜ労働組合が政治的活動をおこなうのか、役員と組合員で学び合うことが大切だと、要求を実現するために運動するという原点を常に大切に、労働組合は政党からの独立を踏まえた活動をしなければなりません。一部の方々が、政党間の共闘に口出して野党共闘を分断しようとするのは行きすぎた行為と言わざるを得ません。人間らしく働き暮らしていくために、政治に対しては関心を持ち続ける必要があります。7月には参議院選挙があります。要求実現に向けて政治を注視しつつ、職場の要求と政治の関係を見直しましょう。



①大阪府職労の小松委員長、②春闘方針提案の竹内事務局長

2022国民春闘は、公務・民間それぞれが要求実現に向けて準備を進めています。
全労連・愛労連は3月9日を集中回答日に指定し、各職場で要求書の提出などを呼びかけています。そして山場と定めた翌3月10日まで、2月17日の地域総行動では地域組織で各職場へ要請、3月10日は全国統一行動など様々な行動がとりくまれます。

2022 国民春闘

大幅賃上げ・人員増の実現へ

公務も民間も山場にむけて準備着々

12月5日、愛労連・愛知春闘共闘は2022国民春闘討論集会を開催し、2022国民春闘にむけて学習・討論をおこないました。
学習では、全労連の秋山事務局長を講師に春闘の意義やストライキの法的根拠などを、自治労連・大阪府職労の小松委員長から「みんなでとりくむ春闘をめざして」と題したコロナ禍での保健所職員の増員などを勝ち取った運動についての講演を聴きました。
愛労連の竹内事務局長の2022国民春闘方針案の提案や全体討論、分科会・分散会も行われました。全体討論では11の単産・



愛知国公 井上弘樹 事務局長

公務も春闘で一時金引き下げはね返す

政府は、2021年の人事院勧告の取扱いについて、一時金の引き下げを含め勧告通り実施する方針を決定しました。しかし、政府内にも国家公務員の給与決定が日本経済へ与える影響を懸念する声があります。
「新しい資本主義」を掲げる岸田政権は、賃上げを分配政策の柱に位置付けて経済界にも積極的な対応を求めています。
政府は、2021年の人事院勧告の取扱いについて、一時金の引き下げを含め勧告通り実施する方針を決定しました。しかし、政府内にも国家公務員の給与決定が日本経済へ与える影響を懸念する声があります。
わたしたちは、一時金の引下げを許さず、公務労働者の賃金改善と諸要求の実現にむけて2022国民春闘で全力をあげて決意です。

最賃全国一律1500円へ 3点セットで「ボトムアップ」へ

みんなで見よう「最賃学習動画」



https://youtu.be/RgHL_bq4zIM

「VOICE」で思いを国や自治体へ
そして、新たにとりくまれるのが「VOICEシート」(写真)。首相にあてた手紙という形で、「困っていること」や「我慢していること」など具体的な経験や思い、また、「最低賃金が1500円になったら」といった希望や展望を書いてもらうと取り組みます。集まった声は首相に届けるとともに、首長・議会要請などで活用します。

昨年10月に全国加重平均で28円引き上げられた最低賃金。今年の10月の更なる引き上げを求めとりくみが進められています。今年の最賃闘争は学習動画、署名、VOICEの3点セットでとりくまれます。
全国の都道府県をランク付けする制度の廃止をもとめる署名が昨年度中にとりくまれ、1月中に提出されました。
そして、例年と同じく「2大署名」もとりくまれ、全国一律最賃制度をもとめる「全労連署名」は2月末、愛知の最賃1500円と審議会での意見陳述などをとめる「愛労連署名」は5月末をめどにとりくみが進んでいます。
今年には学習と「最賃生活」の体験を最賃闘争はこの春闘期からスタートします。今年には最賃学習も重視し、全労連が新たに作成した「最賃学習動画」(写真・QRコード)の単組・支部などでの視聴・学習を呼びかけています。視聴の集約もおこないます。
2月には「最賃生活体験」。昨年は「ふつうの生活」での体験でしたが、今年には「最賃生活」にとりくみます。例年どおり多くの挑戦を呼びかけますが、今年には「単身・若年層」を重視します。一人暮らしの青年の記録とそれ以外の記録を分け、「単身・若年層」の記録を愛知地方最低賃金審議会に提出します。

OPINION
オピニオン

広島、長崎への原爆投下から77年。被爆者の願いが世界に広がり、核兵器の非人道性が国際社会の共通認識となり、核兵器禁止条約が採択されました。批准国が50カ国・地域に達したことにより21年1月22日に条約が発効され間もなく1年を迎えます。1年間で締約国は59カ国、署名国は86カ国へと広がりました(21年12月末時点)、国連加盟国の過半数(97カ国)に迫

唯一の戦争被爆国日本が核兵器廃絶の先頭に

への賛否を脇に置き、オプザーバー参加は可能です。日本は唯一の戦争被爆国であり、被爆者の体験から発信できることは多く、一緒に考えていくべきです。
核兵器による被害を受けいまだに救済されず苦しんでいる人たちが、核実験被害に苦しんでいる人たちがいます。広島・長崎の惨劇を人類は再び繰り返してはなりません。被爆体験を学び、声をあげていくことが大切です。
平和な世界が保障されなければ労働者の生活も権利も保障されません。日本国憲法の第9条と第25条(生存権)・第27条(勤労権)・第28条(労働基本権)は一体のものであります。わが国の軍事費は年間6兆円。軍事費につき込む財源があるのなら、国民の命を救い、健康を守り、生活を支える社会保障を充実させるべきです。
核兵器による被害を受けいまだに救済されず苦しんでいる人たちが、核実験被害に苦しんでいる人たちがいます。広島・長崎の惨劇を人類は再び繰り返してはなりません。被爆体験を学び、声をあげていくことが大切です。

家族・知人等で困っている方にご紹介ください。
パート・臨時・派遣、どなたでも相談できます

無料! 労働相談110番

祝祭日を除く月~金 9:30~16:30
E-mail 110@airoren.gr.jp
または検索サイトで「愛労連」

愛労連労働相談センター
Tel.052(881)1411

みんなのVOICEを国や自治体へ

VOICEはQRコード(Googleフォーム)からとりくめます

きめ細やかな教育の実現を

「県立高等学校再編将来構想」撤回もとりくみ始まる

2021年11月に、愛知県教育委員会より発表された「県立高等学校再編将来構想(案)」に対して、愛高教はこの構想による「学校の統廃合」や「学科改編」の撤回を求める声明を発表しました。そして愛高教など県内の団体からなる「憲法の理念を生かし、子どもと教育を守る愛知の会」が「統廃合」計画の撤回と教

育予算を大幅に増やし教育環境の改善をすることなどを求め、署名などのとりくみを進めています。

統廃合が地域にも影響及ぼす

愛知県は「県立高等学校再編将来構想」で2023年度から2035年度にかけて県立高校の統廃合や新学科への改変などをおこな

りも私立高校を選ぶ傾向が高くなってきている事があります。その対策として県教委は県立高校の「魅力化」をすすめるようとしています。

まずは、2023年度に稲沢・一宮地区の3校を1校に「統廃合」、津島・弥富地区でも2校が1校に

「統廃合」されます。弥富市内からは県立高校がなくなることで、影響は地域の生徒のみでなく、地域全体への影響も懸念されます。

2022年度の県立高校の生徒募集について全国最下位となっている「高等学校進学率」をこれまでの93%から91.5%へ引き下げようとしています。そもそも計画進学率は教育を受ける権利を実現するために設定するもので、教育行政はそれを高める努力をす

てはなりません。子どもたちの学びを保障する本来のあり方からすると大きな問題です。

削減・統廃でなく、ゆとりの環境実現をこの県の構想では2035年度までに200学級ほど削減される見通しとなっています。今回の弥富市・津島市・稲沢市に続き、今後別の地域でも統廃合が行われる事が予想されます。

このことに対して、「愛知の会」は生徒が減るのであれば統廃合でなく、少人数学級で対応するなどし、生徒一人ひとりがしっかりと学べ、教員も余裕を持って教え、働ける環境を整えていくことを求め、署名で次の事を要請しています。

「県立高等学校再編将来構想」を撤回し、安易な統廃合や学科改編でなく、地域や生徒のニーズに沿った学校教育を実現すること。そのために教育予算を大幅に増やし、少人数学級や教員の増員、施設・設備の整備などをおこない、真に魅力ある学校・教育環境に改善する。

それらの実現に向けて、愛高教や「愛知の会」は署名のとりくみを進めます。愛高教は、2月13日に愛西市文化会館でおこなわれる「県立高校再編問題について考える県民集会」を第1次集約に設定して、広げていくことにしています。



今回の統廃合では、弥富市から県立高校がなくなることに。今後も県立高校がない地域が生まれる可能性がある

県立高校の本来のあり方から遠ざかる企業の求める「デジタル社会に必要なDX人材育成」を推し進めるため、「新しいタイプの学校」の設置

も計画されています。犬山市と豊川市へ新しいタイプの学校・新学科が設置されます。そして、商業科10校を4つのタイプに分類・再編され序列化(ランク付け)がおこなわれることになり

ます。2022年度の県立高校の生徒募集について全国最下位となっている「高等学校進学率」をこれまでの93%から91.5%へ引き下げようとしています。そもそも計画進学率は教育を受ける権利を実現するために設定するもので、教育行政はそれを高める努力をす

てはなりません。子どもたちの学びを保障する本来のあり方からすると大きな問題です。

削減・統廃でなく、ゆとりの環境実現をこの県の構想では2035年度までに200学級ほど削減される見通しとなっています。今回の弥富市・津島市・稲沢市に続き、今後別の地域でも統廃合が行われる事が予想されます。

このことに対して、「愛知の会」は生徒が減るのであれば統廃合でなく、少人数学級で対応するなどし、生徒一人ひとりがしっかりと学べ、教員も余裕を持って教え、働ける環境を整えていくことを求め、署名で次の事を要請しています。

「県立高等学校再編将来構想」を撤回し、安易な統廃合や学科改編でなく、地域や生徒のニーズに沿った学校教育を実現すること。そのために教育予算を大幅に増やし、少人数学級や教員の増員、施設・設備の整備などをおこない、真に魅力ある学校・教育環境に改善する。



愛高教は統廃合の対象となる学校を訪問し、組合員や校長と懇談。現場の組合員は生徒や地域のことも懸念している (写真は津島北高校)

豊かな教育環境整備を

憲法の理念を生かし、子どもと教育を守る愛知の会

代表代行 大橋 基博さん

名古屋造形大学特任教授
・あいち民研所長 (教育行政)



今回県教委が策定した「将来構想」の最大の問題点は、密室で作成され、県民の声や要求が反映されたものではないことにあります。「中学生が学びたいと思う学校づくり」を進めるといながら、当事者である中学生や現場の教員の声は聴かれていません。計画進学率を一方的に引き下げるなど問題は問題外です。パブリックコメントで寄せられた県民の切実な声はすべて切り捨てられています。

県立高校の「魅力化・特色化」「生徒の多様な学びのニーズ」というキーワ

ードで県立高校の競争主義的な差別化・序列化を進めるものです。公立高校の入試では「特色選抜」も新たに導入されます。県立高校の種別化を図ることで各高校は自己責任での定員確保が求められます。定員確保ができないと統廃合するのでしょうか。住民の要求を無視して統廃合を進める新自由主義的な統廃合政策です。

県に求められることは少人数学級の実現など小規模できめ細かな指導ができ、人格の完成を目指した教育が可能となる学校の条件整備の充実です。

Topics



12/10

繰り返された愛労委の偏向任命に対し、名古屋ふれあいユニオンとともに県庁前宣伝と愛知県労働局へ抗議



12/11-12

東海北陸ブロックが金沢市内で2022年度の総会。全労連の黒澤事務局長の春闘学習講演や各県のとりくみ交流も



12/19

名古屋市中区・光の広場であいち総がかり行動が屋外集会とデモ行進。愛労連の竹内事務局長もスピーチ



12/24

買い物客で賑わう栄・三越前で消費税やめさせる会のクリスマス宣伝。サンタも消費税減税・廃止を訴えた

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真(デジタルでも可)と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは…
TEL 052-871-5433(小松)まで
E-mail post@airoren.gr.jp

愛知の味覚

その3

蒲郡みかん (写真はみかんポスト)

蒲郡のみかんの歴史は古く、延宝7年(1679年)には三河国宝飯郡五井村で栽培されていた記録がありま

グリーンセンター蒲郡店 (JA)
蒲郡市宮成町1-30 / 電話番号 0533-68-8080
/ 営業時間 9:00~18:00 / 定休日 水曜日

賃上げへ大企業が社会的責任を

2月11日 第43回トヨタ総行動



昨年第42回トヨタ総行動・名古屋駅宣伝の様子。10メートルの横断幕や300人の参加者で名古屋駅桜通口周辺を包囲した。

大幅賃上げをめざす2022国民春闘。その賃上げには大企業に社会的責任を果たさせることが不可欠です。大企業の多くはコロナ禍でも利益を上げ続けています。その一方で、利益を内部留保や株式配当などにまわすのみで、労働者や下請け企業への還元はおこなわれていません。

その大企業の責任を追及するトヨタ総行動が今年もとりくまれます。大企業の筆頭であるトヨタ自動車やグループ企業に対しての要請行動や社会的に訴える街頭宣伝などをおこないます。

トヨタ自動車は11月初旬に2021年9月の中間決算を発表しました。売上高は前年比36・1%増で純利益は前年同期の2・4倍、営業利益は前年同期の3・3倍で、過去最高の利益を上げています。2021年の米国自動車新車販売数では前年比10・4%増で初の首位に立つなど好調です。

今後、コロナ禍での部品不足に伴う減産を取り戻すための挽回生産やこの先円安基調も続く予想されることなどから、2022年3月期の営業利益・純利益ともに2021年5月の予想から上方修正しています。営業利益は2兆8000億円(前年比27・4%増)、純利益は2兆4900億円(同10・9%増)とされています。

近年、トヨタは「100年に1度の大変革期」を強調し、労働組合にこれまで以上の「協調」を迫り、「春闘」を否定しています。春闘での要求額やベースアップの非公開、定期昇給の一律昇給方式から完全成果型への移行など次々とおこなってきています。

今後の主な日程

- あいち総がかり・憲法新署名スタート集会
1月19日(水) 18:30
イーブルなごや
 - 憲法共同センター・新署名キックオフ集会
1月21日(金) 18:30~
労働会館東館ホール
 - 第26回あいち機関紙宣伝学校・秋
1月30日(日) 10:00~
労働会館本館
 - 「愛労連(青年協)って何?」交流会
2月6日(日) 14:30~
リモート
- ※コロナウィルス問題で中止・変更の可能性があります。最新情報をお確かめのうえ、ご参加ください。

おどまほす

NO.152 建交労

労働組合で人生が変わった

「自分の時間が出来たら、楽しいことをたくさんしたい。釣りやキャンプに行ったり、ボクシングも始めたい」と笑顔で語る熊谷さん。

今は前向きに明るい未来を話しますが、長距離トラックドライバーとして勤めていた前の運送会社では「家にも帰れず、睡眠時間もほとんどなく、サービスクラス残業ばかり。目の前の仕事をこな



熊谷 国男 さん
建交労
(名北合同支部)

ただで精一杯の毎日だった」と話します。「このままでは事故を起こしてしまう」と愛労連の労働相談ホットラインへ

相談し、建交労へ加入しました。会社に対し、未払い残業代や事故負担金の返金を求め、粘り強く交渉を積み重ね、納得出

実感から行動へ

「個人では交渉方法もわからず、会社とケンカをして終わっていたと思う。残業代や事故負担金を支払ってもらえたのは労働組合のおかげ。知らなかった事をたくさん教えてもらい、本当に感謝している」と、学び、知

る解決金を勝ち取ることでできました。

り、皆で声を上げる事が大切と実感しました。

調し、労働組合にこれまで以上の「協調」を迫り、「春闘」を否定しています。春闘での要求額やベースアップの非公開、定期昇給の一律昇給方式から完全成果型への移行など次々とおこなってきています。

愛労連・愛知春闘共同委

もつけの一部を還元するだけで賃上げ可能

みんなの声

員会ではトヨタ車の製造・販売・整備などに関わる下請けを含む全労働者約88万人(推計)に月5万円(年間85万円、一時金5ヶ月)のベースアップが74800億円あれば可能と試算しています。この金額は内部留保に手を付けるまでもなく、単年度利益2兆4900億円の30%を賃金と下請け工賃に回すだけです。

■年中無休の福祉事業所に勤務しているのが毎年正月から仕事で、新年を迎える気分もイマイチです。でも、今年はコロナ禍で大阪にすむ姑が帰省しなくても良いと言ってくれたので主人と二人で近くの旅館で正月を迎えようと思えます。なん十年かぶりの小旅行を楽しみにしています。コロナも少しは良い事がありました。(赤土真澄・コープあいち労組)

■多くの働く仲間が労働組合の役割を伝えたいという願いで、知多半島の小中学校で働く人たちに3000部の機関紙を発送しまし

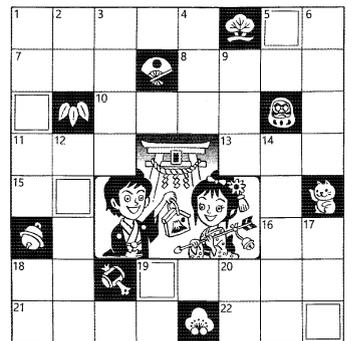
クロスワードパズル

ヨコのカギ

- ① 北海道の小中・高校は他の地方より長いとか
- ⑤ 林に木が1本増えました
- ⑦ 英語では「コメディ」
- ⑧ インフルエンザでも
- ⑩ 外から見えないようにカーテンで……をします
- ⑪ 利益を見込んでの出資
- ⑬ 鍵をかけることです
- ⑮ 山梨県……野原市、長野県……田市
- ⑯ ライラックともいいます
- ⑰ ……回帰線、……半球、……キツネ
- ⑲ 見渡す限りの雪景色
- ⑳ 日本製の発祥の地は倉敷市
- ㉒ 亜鉛をめっきした薄い鋼板

タテのカギ

- ① 春の訪れを感じる植物
- ② 水蒸気が凝結して白く見えませ。雲も同じ
- ③ ご飯と具を炒めたもの
- ④ ……的なハスキーボイス
- ⑤ 高齢者や子供はどの話もろくに聞かずに
- ⑥ アウトラインのことです
- ⑨ タンチョウツルで有名、日本最大の……温泉
- ⑫ 飲食店で接客業務をする人作文のことです
- ⑭ ローレイといえは……川
- ⑰ 非公式ですが、日本の国鳥
- ⑱ 原字番号は47
- ⑳ 陸と陸の間の狭い海峡



【前号のクイズの答え】前号342号(1月号)のクロスワードパズルの答えは「ジダイゲキ(時代劇)」でした。正解者の中から抽選で下記の10名の方に図書カードをお送りします。

- ◆1月号のバズル当選者
- 赤土 真澄 (トアいち労組)
- 伊藤 明穂 (名古屋労組)
- 大谷 由美子 (全労働)
- 小川 あき子 (名古屋労組)
- 尾関 澄子 (福保労)
- 川畑 和子 (全国税)
- 武田 節 (年金者組合)
- 坪井 二郎 (愛教労)
- 松本 竹敏 (名古屋労組)
- 森 美智子 (名水労)

愛労連新聞最新号はこちらから→
発行日(毎月10日)に読めます。

(http://www.airoren.jp/category/news)



※ハガキに答え、住所、氏名、組合名と近況が紙面に対する感想・意見などを記入の上、2月5日までに愛労連クイズ係(〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3F 愛労連宛。メール・FAX可)まで応募下さい。いただいた中から近況や感想・氏名・組合名を紙面で紹介させていただきます。
こちらからメールが送れます。(post@airoren.gr.jp)→



新役員紹介

1月号での新役員紹介で一部お名前を誤って掲載してしまいました。お詫びするとともに次のように訂正いたします。

知多労連

議長 森川真紀子(誤)
← 森川真起子(正)

古屋市職労

■今年もコロナ禍で終わります。来年こそ皆さんと顔合わせて活動したいですね。(森美智子・名水労)

WEBA会議が多くなりま

した。いつでもどこからでも参加しやすい点は嬉しいのですが、お互いの顔を会わせての話し合いも大切なところだと思います。双方向のやりとりにはまだまだ難しいと感じます。(小川あき子・名古屋労組)

■ポストに入っていたチラシ、明らかに雇用形態なのに、よく見るとわざわざ雇用形態・業務請負と書いて